

明治天皇行幸と杉戸①
「明治天皇行幸図」

現在、春日部市を中心とした七市町と、宮内庁宮内公文書館とが連携し、「埼玉縣東部と近代の皇室」展を開催しています。そのメインは春日部市郷土資料館で開催の企画展「明治天皇と春日部」ですが、杉戸町でも「明治天皇行幸と杉戸」と題したパネル展を南公民館で開催しています（～9月4日まで）。

そこでの目玉の一つが、西小小学校で所蔵している「明治天皇行幸（巡幸）」を描いた油絵のパネルです（下の写真。原資料は西小にて展示）。この絵については、いつ誰がどのような目的で描き、なぜ西小小学校に所蔵されていたのかなど、詳らかではありません。三十年くらい前に確認された時点で相当傷み、劣化していたことから、かなり昔に描かれたものであることだけは確かです。行幸という内容から、少なくとも高野尋常小学校（西小の前身）となって以降、時代が下っても戦前ではないかと考えられます。

少しだけ考証を加えてみましょう。絵の左側には、柳の木らしきものが描かれています。陸羽街道（江戸時代の日光・奥羽道中）沿いの並木が柳であるのは、下高野小谷堀、茨島付近しかありません。つまり旧高野小学校校

区（旧高野村地域）を描いたもののようです。また、明治天皇が杉戸町域を通過したのは、明治九年（一八七六）と、同十四年の巡幸の際です。そのどちらの巡幸を描いた絵なのかまではわかりませんが、具に見てみると、街道沿いに電信柱と思われるものが描かれているのがわかります。確かに明治四年には東京・横浜ですでに電信が始まっていますが、同九年、あるいは同十四年の段階で、杉戸町域にまで電信（柱）が普及していたのかは疑問が残ります。さすれば、行幸が行われた同時代ではなく、後世になって行幸を想像的に描いた可能性が高いと言えるのではないのでしょうか。（つづく）

※郷土の偉人・大島有隣は、10月号以降に続きます。



明治天皇行幸の図

（社会教育課 町史・文化財担当編）

杉戸町スポーツ推進委員連絡協議会 presents
ファミリーバドミントン交流大会2022 レポート

6月18日(土)、杉戸小学校体育館（内田4丁目）にて、杉戸町スポーツ推進委員連絡協議会主催による「ファミリーバドミントン交流大会2022」が開催されました。コロナ禍により3年ぶりの開催となった今大会では、6チーム総勢23名の参加者たちが集い、熱戦を繰り広げました。



結果 優勝：ドウデュース（写真右）
準優勝：リバティ ONE 3位：リバティ TWO、きみたんず

参加者の声
「いつも練習会に参加しています。成果を発揮できて嬉しいです！」
「小学生の子どもも参加しました。大人に混じれて楽しかったようです。」
「年配の私でも若い子を打ち負かしたので驚きました！」

問合せ
社会教育課 スポーツ振興担当 内線493

ファミリーバドミントンとは？

短いバドミントンラケットと柔らかいボールのついたシャトルを使い、3対3のチームで対戦するニュースポーツです。バレーボールのように自分のコート内でパスを回し、相手コートに打ち返して得点を競います。

POINT

- ☑ はじめての人でも簡単にできる！
- ☑ 手のひらで打つような感覚！
- ☑ スマッシュ禁止でラリーが続く！

ファミリーバドミントン練習会

無料体験教室を実施中です。お一人でも参加できるのでお気軽にご参加ください。

日時 毎週土曜日 10時～12時
場所 杉戸小学校 体育館

※予定を変更する場合がありますので、参加を希望する方は事前にお問合せください。



UD FONT by MORISAWA
ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE